



特集

さまざまな体験が 子どもを大きくする

——山登りに昆虫採集、緊張しながら頑張った発表会や試合——大人になっても思い出す子どもの頃の体験はありませんか。子どもの時の体験は「豊かな人間性」や「自ら学び、考える力」などを育み、『生きる力』の基盤や成長の糧になるものです。

問い合わせ 生涯学習課

子どもの成長に役立つ 『体験活動』

次世代を担う子どもたちがさまざまな力を身に付けていく上で、体験活動は大きな役割を果たします。

体験活動は、子どもたちが自分の良さや可能性に気付くきっかけとなるほか、自然や人と関わり感動したり、課題に直面し解決方法を考えたりする機会になります。

また、体験を積み重ねていくことで、自分の力を伸ばす挑戦をしたり、人や社会とより良く関わる力を高めたりすることが期待されます。

そのため、町では、教育分野の基本的な方針などを定めた「岡垣町教育基本構想」に基づき、学校や家庭、地域それぞれの場における体験活動を推進しています。

体験活動の効果

自然の中での活動や文化的な体験、読書、お手伝いを多くしていた子どもは、家庭環境に関わらず、高校生になって「やればできる」という自分の能力への自信である自尊感情(図1)や社交性・積極性・活動性を表す外向性、困難やストレスにうまく対処し、乗り越える力である回復力などの項目の得点が高くなることが分かりました。

また、小学生の頃に異なる年齢の人とよく遊んだり、山や川、海

などの自然の場所でもよく遊んだりした経験のある高校生も同様の傾向が見られました(図2)。

世帯収入の水準別に分けて体験と意識との関係を分析したところ、収入が国や地域の水準に比べて低い家庭でも、自然体験の機会に恵まれていると、家庭の経済状況などに左右されることなく、その後の成長に良い影響が見られることが分かりました(図3)。

全ての子どもに体験の機会を

全ての子どもたちが環境に左右

されることなく、体験の機会を十分に得られるように、家庭では「読書やお手伝いの習慣を身に付けるようにする」、地域では「放課後などに地域の大人と遊びを通じて交流する機会を設ける」、学校では「社会に開かれた教育課程の実現を目指して、地域と連携しつつ体験活動の充実を図る」ことが大切です。

家庭・地域・学校が協働し、「多様な体験を土台とした子供の成長を支える環境づくり」を進めていくことが、よりよい社会づくりにつながると考えられています。

図2 「遊び」の影響

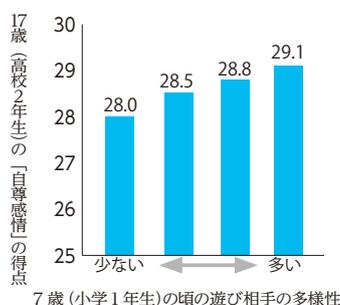


図1 「体験活動」の影響

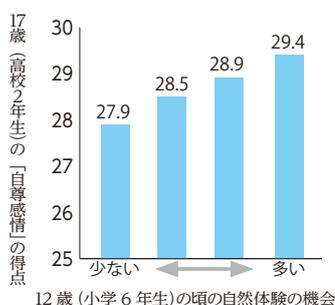
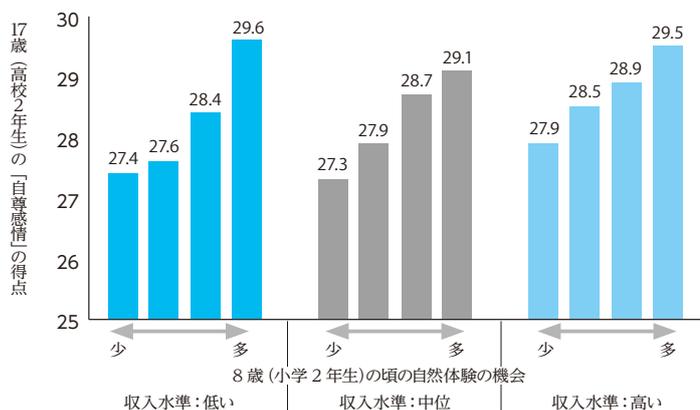


図3 「体験」の影響



出典 令和2年度青少年の体験活動に関する調査研究報告書(文部科学省)

特 集 **さまざまな体験が**
子どもを**大きくする**



学べる!遊べる! 体験活動に参加しよう

通学合宿「夢の体験塾」



「生きる力」を育む通学合宿

学校も学年も異なる子どもたちが地域の人の協力のもと、若潮荘で一定の期間寝泊まりし、炊事や洗濯などを自分たちの力でいながら、学校に通う体験活動です。

通学合宿のねらいは、物質的な豊かさの中で、親元で不自由なく暮らす子どもたちが自分たちで衣食住の生活体験をすることで生活力を育むとともに、共同生

活を通してお互いの立場や役割を理解し、協力し合ってよりよく生活することができる能力を高めることです。

CHECK!

- 時期 5～6月頃
- 対象 町内の小学4～6年生
- 日程 3泊4日(※) ※令和5年度現在
- 費用 4,000円(※)
- 実施者 夢の体験塾実行委員会(岡垣町青少年健全育成町民会議)



参加者: 岸本 龍さん

3泊4日楽しかったです。特に、お楽しみ会の際の風船バレーが盛り上がり良かったです。次も参加できたらと思います。



参加者: 後藤 満月さん

「自分のことは自分で」という目当てを守り、楽しく生活できました。自分たちで作ったご飯もおいしかったので、参加して良かったです。

まがたま 勾玉づくり・しめ飾りづくり



講師: 文化財技師 朝原 泰介

文化財技師の講話や指導のもと、ものづくりの楽しさに触れながら、いろいろな人との関わり方を学ぶことができる勾玉づくり・しめ飾りづくり。

地域の歴史に興味をもってもらうため、昔の装飾品である勾玉や昔から各家庭で作られているしめ飾りなどの歴史や使われ方を

学び、体験を通して子どもたちの郷土愛の醸成を目指しています。

参加者の声

勾玉づくりで難しかったところは、水を使って仕上げることです。また、この機会にいろいろな人と関わることが良かったです。





参加者のリアルボイス！

- ★子どもがとても楽しそうでした。新しい知識を得られました（保護者）
- ★親子で参加し楽しそうに過ごしているのが大変良いと思いました（ボランティア）
- ★家にずっといるより、ここに参加して良かったです。楽しかったです（小学3年生）
- ★息子と一緒に一つのことを協力して行うことが少なくなっているので、今回のようなイベントは親としてはとても嬉しいです（保護者）
- ★ラジオづくりで電気の使い方がよく分かりました（中学生）

長期休暇は子どもの「生きる力」を育むチャンス。親子で触れ合ったり、協力してものづくりしたりする機会を設けて、充実した休みを過ごすようさまざまな体験活動を企画しています。

ふれあい チャレンジ教室

CHECK！

- 時期** 夏休み・冬休み
対象 小・中学生
内容 しぼり染め、ラジオづくり、キッズヨガ教室など
 ※令和5年度現在



薄 絆杏さん

おもしろそうだなと思って参加しました

三味線は楽譜も音色も独特です。特に指使いやパチの使い方が難しいです。

この教室でコツコツ積み重ねる力が身に付いたと思います。

日本の伝統芸能に触れることで、伝統文化を受け継ぎ、豊かな情操や感性を育みます。

キッズ 三味線教室

読み聞かせボランティア団体

くすの木の家

親子読み聞かせ教室では、季節ごとにテーマを決めています。教室を通じて、日本文化や風習を学ぶきっかけや季節を感じる楽しさを親子で知って欲しいと思います。

子どもの成長につながる効果があると言われる「読み聞かせ」。親子で本を一緒に読むことで、子どもの情緒や想像力を育て、ことばを覚えたり、興味・関心を広げたりする機会にもなります。

親子 読み聞かせ教室



ふれあいファミリー スポーツ教室 体力測定

親子がスポーツを通して、相互に理解し合い、人間関係が深まっていきます。また、日頃の運動不足解消にもつながります。

参加して、子どもの成長を感じた

晃さん 自分の体力を知ることができました。また、子どもがどれくらい成長しているか知ることができました。

真美さん 子どもが普段できない体験をしてほしくて参加しました。子どもが普段走らないのに楽しそうに参加してくれました。

旭さん 走るのが楽しかったです。

晃さん 体を動かすことは楽しいので次回も参加したいです。

真美さん 子どもが普段、運動をしていないので参加させたいです。

Interview

田北 晃さん(父)、真美さん(母)、旭さん(小学1年生)、真奈さん(4歳)、陽さん(1歳)



国内短期留学事業 「ふれあい in 岡垣」 「ふれあい in SANADA」

参加したホストファミリーの声

「子どもの成長につながる」と思い、ホストファミリーに応募しました。実際、やってみると大変な部分もありましたが、それ以上に子どもが積極的に考え、行動してくれました。真田のことを学ぶとともに町の良いところを紹介しようと調べて、新しい発見もありました。

また、どこを紹介しようかなと考えて、シミュレーションしていたので、そこもうれしい成長でした。次もこのような機会があれば、積極的に参加したいです。



ホームステイを通して学ぶ「ふるさと岡垣」

気候・風土・生活習慣の異なる上田市真田町の子どもたちとのホームステイ交流を通して友好を図り、継続的な交流が行われるような関わりづくりを目指しています。

また、岡垣町の住民がほかの町の子どもたちをホームステイで受け入れることでボランティア精神を培い、自ら住む町を紹介することによって「ふるさと岡垣」を再認識し、愛町精神を養うことを目的としています。



4年ぶりの「ふれあい in 岡垣」を終えて——

小・中学生の頃に、国内短期留学事業に参加し、今年度は実行委員として活躍された皆さんにお話を伺いました。

——実行委員に応募したきっかけを教えてください

子どもの頃に体験して、楽しかった思い出があった



▲左から 仲野 美桜さん 田中 凜さん 大村 和輝さん 添田 翔大さん

ので、今回参加する子どもたちの素敵な思い出づくりを何かお手伝いできたらと思い応募しました。

——参加してみてどうでしたか

一人ひとりの対応を考えながら動くことが大変でした。それでも、お別れ式の時に円陣になって歌い、別れを惜しんで涙を流す子もいて、参加して良かったと思いました。

——今後の参加者に一言

気候も風土も違う長野の人たちとの関わりを通して子どもたちは大きく成長できると思います。皆さんもぜひ、参加してみてください。

——豊かな経験は、大人になっても
かけがえのない思い出——



五感を使ってさまざまなことを体験することで豊かな感性が生まれ、いつもとは違う環境の中で感動したり、驚いたりしながら「なぜ、どうして」と考えを深めることで、好奇心や探究心を高めるきっかけになるといわれている「体験活動」。子どもの頃の体験活動は「生きる力」の基盤や成長の糧になると考えられています。皆さんも体験活動に積極的に参加しませんか。

好奇心や探究心を高める「体験活動」に参加しよう